レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日		
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師		化学療法委員会承認年月	平成　26 年　　月
レジメン名	ベバシズマブ ＋ FOLFIRI				
疾患名	大腸がん	適応の備考	CVポート		
適応分類	進行再発				
1コース日数	14　日間	総コース数	コース	催吐性リスク	中等度
抗がん剤投与量・投与日	ベバシズマブ5mg/Kg day1、イリノテカン150mg/㎡ day1、5－FU400mg/㎡day1、2400mg/㎡ day1				

治療スケジュール ・ 投与日程（投与日は●）　(day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量		投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	主ルート	生食20mL	1	本 / body		●													
	中心静脈注射																		
				/															
2	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5 分	●													
	中心静脈注射																		
	プライミング用																		
3	主ルート	生食100mL	1	本 / body		●													
	中心静脈注射	ベバシズマブ	5	mg / Kg	90 分	●													
				/															
	投与速度は1回目90分、忍容性が確認されれば、2回目60分、3回目以降30分で投与可。																		
4	主ルート	生食250mL	1	本 / body	30 分	●													
	点滴静注	ホスアプレピタント注150mg	1	本 / body		●													
	抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴			/															
5	主ルート	ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg50mL	1	本 / body	30 分	●													
	中心静脈注射	ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液1.65mg/0.5mL	3	本 / body		●													
				/															
6	主ルート	5%ブドウ糖液500mL	1	本 / body	90 分	●													
	中心静脈注射	イリノテカン	150	mg / ㎡		●													
	Rp6.とRp7を同時投与する			/															
7	主ルート	5%ブドウ糖液250mL	1	本 / body	2 時間	●													
	中心静脈注射	レボホリナート	200	mg / ㎡		●													
	Rp6.とRp7を同時投与する																		
8	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5 分	●													
	中心静脈注射	5-FU	400	mg / ㎡		●													
9	主ルート	生食100mL	1	本 / body	46 時間	●													
	中心静脈注射	5-FU	2400	mg / ㎡		●													
		携帯型ﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾞﾌﾞﾙ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ																	
	希釈後の液量を総量140mLとなるよう調製																		

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。（例：Rp2とRp3を同時に投与開始する。）

【投与上の注意】

Rp6.とRp7を同時投与する

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

穿刺時に逆血を確認し、ポートの通過を確認すること

ベバシズマブ：希釈は生食のみ。

ベバシズマブ：投与速度は1回目90分、忍容性が確認されれば、2回目60分、3回目以降30分で投与可。

・day1デキサート注は、3.3mgでも可